RP-DELAY



ユーザーガイド



RP-Delayへようこそ	3
[コントロール]	4
ノブ	4
オン/オフ ボタン	4
メニュー・ボタン	4
右クリック	4
コンピュータ・キーボード・コントロール	5
[プリセットとグローバル]	6
プリセット	6
クイック・ブラウザ	6
バンク	7
edit / original	7
グローバル	7
ECS	7
?(クイック・マニュアル)	8
メイン・アウトプット・コントロール	8
グローバル・コントロール	8
EQコントロール	8
メイン・モジュレーション・コントロール	8
[Delay 1 & 2]	9
ディレイ・セレクタ	9
メイン・コントロール	
フィルター&ディストーション・コントロール	
イージー・コントロール	
[Reverser 1 & 2]	11
リバース・フィルター&ディストーション・コントロール	
[Trigger / Audio Follower]	12
TRIGGER(トリガー)	
AUDIO FOLLOWER(オーディオ・フォロワー)	
[Envelope / LFO]	13
Envelope(エンベロープ)	
LFO	
[Modulator]	14
[Seguncer]	
- · ·	
トリガー	
モジュレーション・ソース	
「登録・更新・サポート]	
レンストレーションアップデート	
ノノノノ 「	
シ 小一 Г	1 /

RP-Delayへようこそ

RP-Delayは、最新のFXルーティングを含む非常に特殊な機能フィーチャーしたユニークなディレイです!

例えば、サウンド・リバーサーは、ディレイ・サウンドの1つをリバース再生することができます。

リバース・サウンドもMIDIキーボードを使ってトリガーすることができ、また専用のフィル ターとディストーションを使って、まったく未知のサウンドを作ることも可能です!

13のアクティブなマルチモード・フィルター付きの6つのディレイ・ラインを一度に操作できる RP-Delayを、ひとつのセッションで複数使用することができます。

もちろん、シンプルなモノラル・ディレイとステレオ・ディレイ等の基本的なディレイ・モデ ルが含まれているのは言うまでもありませんが、クリック操作なしでテープ長を変更できるよ うにするテープ・サウンド・ディレイも搭載しています。

ディレイ、フィルター、リバーサーは、すべて内蔵モジュレータで変調できます。 また、いくつかのトリガー・オプションを完備した、4つのモジュレーション・シーケンサー、 4つのLFO、4つのエンベロープがあります。

他にも多くの最新機能とオプションを満載したRP-Delayの全く新しい世界を、徹底的に味わってください!



[コントロール]

RP-Delayでは、パラメータを調整するためにコント ロール・ノブとボタンを使用します。コントロールの 上でマウスを動かすと、コントロール名とその値が、 上部真中にあるRP-Delayの読み出し画面に表示され ます。

ノブ

ノブ上を左クリックしたままマウスを上下に動かすこ とで、アマウントの変更を行うことができます。アマ ウントは、読み出し画面に表示されます。Shiftキーを 押したまま上下に動かすことで、アマウントを微調整 することができます。Ctrl+クリック(MacはCommand+ クリック)で、アマウントはデフォルト値に設定されま す。



オン/オフ ボタン

ボタンをクリックするたびに、オン/オフが切り替わります(例:Bypassボタン)。 ボタンは、オンの時に青色LEDが点灯しています。

メニュー・ボタン

PRESETメニューなどのメニュー・ボタンを左クリックすると、ポップアップ・メニューが表示され、そのコントロールのための選択をすることができます。

右クリック

任意のコントロールの上で右クリック (MacはCommand+ヮリック) すると、MIDIメニューが表示さ れます。これには、パラメータ名、現在値、ラッチ先のMIDIが表示されます。 また、以下を行うこともできます。

•Set to Default_

コントロールをそのデフォルト値に設定します。

•Latch to Midi

任意のコントロールを、MIDIコントロールにラッチします。例えば、MIDIエクスプレッションにReDelay Size (リディレイサイズ) をラッチするには、Volume (ボリューム) ノブを右クリックし、Latch to Midi (MIDIに ラッチ) を選択してから、MIDIエクスプレッション・コントロールを動かします。これで、画面上の Volumeノブも一緒に動いているはずです。

これらのMIDIコントローラの設定はグローバルで、ホスト・シーケンサーで起動しているすべてのRP-Delay共通のアクションとなります。

•Unlatch Midi

任意のMIDIコントロールをアンラッチします。

•Clear Midi

すべてのMIDIコントロールをアンラッチします。

注記:プリセットセクションでは、ハード・ディスクにMIDIラッチのセットアップ全体を セーブ/ロードすることができます。画面上部の「ECS」ボタンをクリックしてください。

コンピュータ・キーボード・コントロール

コンピュータのキーボードを使用してプリセットとバンクを切り替えることができます。 画面右上にある「RP-DELAY」のロゴをクリックして、バックパネルを表示し、「Computer Keyboard On / Off」ボタンをオンにします。

この設定はグローバルとなります。

↑キー 前のプリセット

↓キー 次のプリセット

[プリセットとグローバル]

プリセット



プリセット・セクションでは、RP-Delayのすべてのプリセット、バンク、外部コントロール設 定を管理します。このセクションには、お気に入りのプリセットを容易に作成できるようにす るQuick Browser (クィック・ブラゥザ)機能が付いています。

プリセット画面をクリックしてプリセットを選択します。 また「<>」キーを使用して、選択したバンクのプリセット内を順番にブラウズすることも可能 です。

プリセット・メニューにはQuick Browser (クイック・ブラウザ) 機能、Recently Browsed (最近のブラ ウズ) 機能、及びFavorites (お気に入り) 機能もあります。

ユーザーは、ロード/セーブ/リネーム/コピー/ペーストの動作を通してプリセットとバン クを管理できます。

また、プリセットをデフォルト設定にクリアすることもできます。

注記:プリセット編集後は、バンク全体の中にそのプリセットを保存する必要があります。 オリジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けて バンクを保存するようにしてください。

クイック・ブラウザ

Quick Browse	利用可能な全てのバンクとそのプリセットを表示します。 任意のプリセットをクリックすると、そのバンクとプリセットが ロードされます。
Recently Browsed	最近使用した全てのプリセットを表示します。エントリをクリック すると、そのプリセットが再びロードされます。「Clear Recent」を クリックすると、全てのエントリが削除されます。
Favorites	お気に入りプリセットとして選択されたプリセットのリストを表示 します。エントリをクリックするとそのプリセットがロードされます。 「Add Current to Favorites」をクリックすることで、任意のプリセット を選択し、お気に入りにすることができます。「Remove Current from Favorites」は、Favoritesリストから現在のプリセットを削除し、 「Clear Favorites」は全てのエントリを削除します。

Recently BrowsedとFavoritesは楽曲中に一時保存され、次回起動時にクリアされます。

バンク

バンク画面をクリックしてバンクを選択します。 また「<>」ボタンをクリックして、バンクを順番にブラウズすることも可能です。コンピュー タの左右キーで32項目ずつプリセットを変更します。

すべてのRP-Delayバンクは、コンピュータのRP-Delay/Banksフォルダにセーブされています。 オリジナルのRP-Delayバンクも、このフォルダ内にセーブすることをお勧めします。

バンクをセーブ/ロードするには、本セクションのファイル機能を使用する必要があります。

注記:オリジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けて バンクを保存するようにしてください。

edit / original

いったんプリセットを編集すると、 edit / original ボタンが点灯します。 もう一度edit / original ボタンをクリックすると、プリセットが元のオリジナル設定に戻りま す。

再び edit / original ボタンをクリックすると、プリセットは編集済みのバージョンに戻ります ので、オリジナル・プリセットと編集済みプリセットを切り替えながら、加えた変更の違いを 聞くことができます。

注記:プリセット編集後は、バンク全体の中にそのプリセットを保存する必要があります。 オリジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けてバンクを保存する ようにしてください。

グローバル

ECS

ECSと呼ばれる外部MIDIコントローラ・セットアップ・ファイルをロード/セーブできます。 この設定はグローバルですので、いったん設定されるとすべてのプリセットで共用されます。

右ボタン (MacではCommand+クリック) メニューを使用して「Latch MIDI」を実行することで、MIDI コントローラにRP-Delayのコントロールの1つをラッチすることができます。

同様にMIDIコントロールをアンラッチしたり、すべてのMIDIコントロールをクリアすることも可能です。

Load ECS	ECSセットアップを保存しているフォルダが開きます。
	RP-Delayのインストーラーは、ECSと呼ばれるフォルダをインストール
	し、「.ECS」ファイルをロードします。
Save ECS	MIDIセットアップをセーブします。
	これは「.ECS」ファイルとして保存されます。
Clear Midi	RP-Delay用の全てのMIDI設定をクリアします。
	最初からやり直したいときに便利です。

? (クイック・マニュアル)

?ボタンをクリックすると、pdfマニュアル(英語)が起動します。

メイン・アウトプット・コントロール

send	RP-Delayのあらゆるドライ出力を削除します。
bypass	RP-Delayのエフェクト全体をバイパスします。

グローバル・コントロール

volume	メインボリュームを調整します。
mix	ドライ入力とディレイ出力のミックスを調整します。
length	グローバル・ディレイ長を調整します。
feedback	グローバル・フィードバック・アマウントをコントロールします。
	例えば、これを20%に設定すると、すべてのディレイフィード
	バックが20%増加します。

EQコントロール

<i>EQ</i> オン/オフ	イコライザをオン/オフします。
high	高域を調整します。
mid	中域を調整します。
low	低域を調整します。

メイン・モジュレーション・コントロール

global modulator	グローバル・モジュレーション・アマウントを調整します。
bypass	モジュレータをバイパスします。

[Delay 1 & 2]

ディレイ・コントロールは、RP-Delayの中心部です。さまざまなルーティングが可能な3つの ディレイで構成されるセットが2セットがあります。

Model : Serial Multi

それぞれ名称は Delay 1a、1b、1c、Delay 2a、2b、2c、となります。

各ディレイ・モデルは、読み出しのモデル・セクション をクリックすることで選択されます。

ディレイ・モードは以下の通りです。

Mono delay	Delay 1aだけが有効です。左右のディレイ長は同じです。
Stereo delay	Delay 1aだけが有効です。左右のディレイは異なる設定が可能です。
Dual stereo	Delay 1aとDelay 2aが有効です。
Channel split	すべてのディレイが有効です。Delay aの左出力が
	Delay bに入ります。Delay aの右出力がDelay cに入ります。
Split multi	すべてのディレイが有効です。Delay aの出力がDelay bとDelay c
	にも入ります。
Serial multi	すべてのディレイが有効です。Delay aの出力が
	Delay bに入り、Delay bの出力がDelay cに入ります。
Parallel multi	すべてのディレイが有効です。Delay a、b、cが並列で実行されます。
Full serial	Delay 1 a,b,c Delay 2 a,b,cの順に実行されます。
Reverse	ディレイがオフにされ、リバーサーが単独で機能します。



ディレイ・セレクタ

Delay 1/2ともに同じセレクタがあります。

Delay 1/2	このセット内のすべてのディレイをオン/オフします。
a/b/c	Delay a、b、c のコントロールを表示します。
Rev	選択しているディレイ・セットのリバーサーを表示します。
Easy	選択しているディレイ・セットのイージー画面を表示します。
Menu	コピー、ペースト、クリア等のディレイコマンドを表示します。
On	カレントディレイをオン/オフします。
Таре	ディレイ・テープ・モードをオン/オフします。オフの場合、ディレイは
	通常のデジタル・ディレイのように機能します。オンの場合、ディレイは
	テープ・ディレイをシミュレーションします。ここではディレイの長さは

シミュレートされたテープのスピードを変更する事によって、変更されます。テープの長さを変更しても クリック・ノイズは発生しません。

メイン・コントロール

Delay 1/2 ともに同じコントロールがあります。

stereo	ステレオ・ディレイ長モードをオン/オフします。オンの場合、左右の ディレイ長を個別に設定可能です。
sync	ディレイの同期をオン/オフします。オンの場合、ディレイ長はホスト・
	シーケンサーのテンポに従います。
equal	イコール・フィードバックをオン/オフします。オンの場合、どの長さを
	使用していても、LとR両方のフィードバックが等しくフェード・アウトし
	ていきます。
vol	選択しているディレイのボリュームを調整します。
mix	選択しているディレイのドライ入力とウェット出力のミックスを調整しま
	す。
pan	選択しているディレイのステレオ・パンニングを調整します。
L length	左ディレイ長を調整します。
R length	右ディレイ長を調整します。モノラル・モードでは、これは左ディレイ長
	と同じになります。
feed	ディレイのフィードバック・アマウントを調整します。
cross	左チャンネルと右チャンネルの間のフィードバック・アマウントを調整し
	ます。
Feed (ボタン)	負(一)のフィードバックをオン/オフします。

フィルター&ディストーション・コントロール

lp	6dbローパス・フィルターのアマウントを調整します。
hp	6dbハイパス・フィルターのアマウントを調整します。
filter type	アウトプット・フィルターのタイプを選択します。
freq	アウトプット・フィルターの周波数を調整します。
Q	アウトプット・フィルターのレゾナンスまたはボーカル・フィルターの
	ボウェル(母音成分)を調整します。
distort type	ディストーションのタイプを選択します。
distort	ディストーションのアマウントを調整します。
volume	ディストーションのボリュームを調整します。
distfd	ディストーションのフィードバックをオン/オフします。オフの場合、
	出力はそのままディストートされます。オンの場合、ディストーションは
	フィードバックされます。

イージー・コントロール

easyボタンをクリックすると、Delay a、b、cのメイン・コントロールが同時に表示される **easyページ**が表示されます。



[Reverser 1 & 2]



Reverser (リバーサー) 1 / 2は、あらゆる入力の時間をリバース (逆転) させるモジュールです。 例えば、Reverser 1の長さを1秒に設定すると、入力されるサウンドは、長さが1秒毎に分割さ れ、逆転されます。

Delay 1用に1つ、Delay 2用に1つ、合計2つのリバーサーがあります。この2つのリバーサーは 同じコントロールを共用しています。

stereo	リバーサー のステレオ・レングス・モードをオン/オフします。オンの場
	合、左右のリバーサー長は違う場合があります。
sync	リバーサー 長の同期をオン/オフします。オンの場合、リバーサー長は
	ホスト・シーケンサーのテンポに従います。
vol	選択しているリバーサー のボリュームを調整します。
mix	選択しているリバーサー のドライ入力とウェット出力のミックスを
	調整します。
pan	選択しているリバーサー のステレオ・パンニングを調整します。
L length	左リバーサーの長さを調整します。
R length	右リバーサーの長さを調整します。モノラル・モードでは、左リバーサー
	長と同じになります。
position	リバーサー の位置を選択します。入力後、各ディレイ後、出力後と、シグ
	ナル・ルーティングのどこにでも配置できます。
trigger	リバーサー の作動開始をトリガーするエレメントを選択します。トリガー
	されているとき、リバーサー は初期状態にリセットされます。

リバース・フィルター&ディストーション・コントロール

filter type	リバーサー・フィルターのタイプを選択します。
freq	リバーサー・フィルターの周波数を調整します。
Q	リバーサー・フィルターのレゾナンスまたはボーカル・フィルターの
	ボウェル(母音成分)を調整します。
distort type	リバーサー・ディストーションのタイプを選択します。
distort	リバーサー・ディストーションのアマウントを調整します。
volume	リバーサー・ディストーションのボリュームを調整します。

[Trigger / Audio Follower]

	TRIGGER	VOLUME TRIGGERING	AUDIO FOLLOWER
trigger 1 trigger 2 trigger 3	CC 012 CC 054 CC 085		content based
trigger 4	CC 118	sens.	smooth boost

TRIGGER(トリガー)

triggerボタンをオンにすると、TRIGGER画面とAUDIO FOLLOWER画面に切り替わります。

RP-Delayには4つのMIDIトリガーがあります。これらはMIDI ccコントロール (0~127) に設定さ れます。 受け取られたMIDIデータが#64を超えていると、トリガー・イベントが生成されます。 #64未満であると、トリガー・リリース・イベントが生成されます。

また、ここにはボリューム・トリガー・ノブもあります。 インプット・ボリュームがこの設定ボリュームを超えていると、トリガー・イベントが生成さ れます。

AUDIO FOLLOWER (オーディオ・フォロワー)

RP-Delayには、モジュレーション・ソースとしてボリューム・フォロワーがあります。 これは、インプット・ボリュームをモジュレーション・アマウントに変換します。 smoothは、このボリュームがどの程度徐々にスムーズになるのかを調整します。 boostは、このボリュームをどの程度ブーストさせるのかを調整します。

[Envelope / LFO]

env 1	attack). hold	decay	Ifo)	speed). hum	shape	
	trigger destin.	Fre Noi	e ne) 2	trigger wave destin.	Fre Sin Nor	e e ie	
		i amount					amount	Sync	

Envelope (エンベロープ)

env / Ifo ボタンをオンにすると、エンベロープ画面とLFO画面に切り替わります。

エンベロープ・セクションでは、4つのエンベロープの内の一つを使用して、RP-Delayのアマウ ントを変更することができます。env 1~ env 4 ボタンをクリックすることで、任意のエンベ ロープを選択できます。

trigger	エンベロープをトリガーするソースを選択します。
	どのイベントがシーケンサーをトリガーするのかについては、 [トリガー
	& モジュレーション・ソース] ページ を参照してください。
destin.	エンベロープの変調先を選択します。
amount	エンベロープがエンベロープ・デスティネーションを変調するアマウント
	を調整します。
attack	エンベロープ・アタック・タイムを調整します。エンベロープがトリガー
	された後に、最大値に達する速さを調整します。
hold	エンベロープが最大レベルにとどまる時間を調整します。
decay	エンベロープがWhite Noteモード及びHost Playingモード時、または#64
	未満のトリガーCCデータで、ゼロに減衰する速さを調整します。

LFO

LFOセクションでは、4つのLFOの内の一つを使用して、RP-Delayのアマウントを変更することができます。lfo 1~ lfo 4 ボタンをクリックすることで、任意のLFOを選択できます。

trigger	LFOをトリガーするソースを選択します。
	どのイベントがシーケンサーをトリガーするのかについては、 [トリガー
	& モジュレーション・ソース] ページ を参照してください。
Wave	Sine (正弦波) 、Triangle (三角波) 、 Saw Up / Down (鋸波上下) 、 Square
	(矩形波) 、S&H (サンプル・アンド・ホールド) の6種類から選択します。
destin.	LFOの変調先を選択します。
amount	LFOデスティネーションを変調するアマウントを調整します。
sync	LFO速度がホスト・シーケンサーのテンポにシンクされているかどうかを
	コントロールします。
speed	LFOの速度を調整します。コントロール sync がオンに設定されている
	場合には、速度はテンポベースになります。
hum	LFOの速度をランダマイズして、より人間らしさを演出 (ヒューマナイズ)
	します。
shape	LFOシンメトリ、つまりLFOが波形の中間点に達する速度を調整します。
	矩形波のLFOと使用するのが有効です。

[Modulator]

me	od 1 mo	d 2 mod 3	mod 4	ma	od 5 mo	d 6 mod 7	mod 8
	source	Mod Whl			source	None	
	destin.	Del. 1A Feed			destin.	None	
		amount				amount	

modボタンをオンにすると、モジュレータ画面に切り替わります。

モジュレータ・セクションでは、 8つのモジュレータの内の一つを使用して、RP-Delayのアマ ウントを変更することができます。mod 1~ mod 8 ボタンをクリックすることで、任意のモ ジュレータを選択できます。

source	モジュレーション・ソースを選択します。
destin.	モジュレーションの変調先を選択します。
amount	モジューション・アマウントを調整します。

							П									
۲	0	۲	0	۲	0	۲	0	۲	۲	0	۲	0	۲	0	۲	
H	ost S	tarts		01	1	6	1x		06				la Fil	t	Ċ	
	trigg			start							de					it

RP-Delayには、4つの16ステップ・シーケンサーがあります。 seq 1~ seq 4 ボタンをクリックすることで、任意のシーケンサーを選択できます。

シーケンサー画面上部のスクリーンでは、各ステップのアマウントを-100%~100%の間で調整 することができます。

各ステップ下部の〇ボタンが塗りつぶされているステップがトリガーされます。

[Sequncer]

trigger	シーケンスをトリガーするソースを選択します。
	どのイベントがシーケンサーをトリガーするのかについては、 [トリガー
	& モジュレーション・ソース] ページ を参照してください。
start	ループ開始ステップを選択します。
end	シーケンサーのステップ数を、1~16ステップから選択します。
	ループしない範囲のステップは明るく表示されます。
Speed	1/4~4倍の間で、ホストのテンポに対するシーケンサーの速度を調整する
	ことができます。
sync	シーケンサーをホスト・シーケンサーに同期します。
swing	シーケンスのスウィングの度合いをコントロールします。より人間らしい
	リズム感を作ることができます。
destination	シーケンサーの変調先を選択します。
amount	シーケンサーがデスティネーションを変調するアマウントを調整します。
command	コピー、ペースト、クリア等のシーケンサーコマンドを実行します。
load	セーブされたシーケンスをロードします。
save	現在のシーケンスをセーブします。

トリガー

RP-Delayによって、エンベロープ、LFO、シーケンサー及びリバーサーをトリガーするために 多くの異なるイベントを使用できます。

Free	トリガー・イベントなし。LFOとシーケンサーに役立ちます。
Note	MIDIコントローラのノートが押された瞬間にトリガーします。
While note	Noteと同じですが、MIDIコントローラのノートが押されている間だけ
	トリガーします。ノートがリリースされると、エンベロープはリリース
	モードに入り、シーケンサーは停止します。
Volume	インプット・ボリュームが、設定されたトリガーレベルを超えたときに
	トリガーします。
Host starts	ホスト・シーケンサーの再生と同時に RP-Delay のシーケンスも
	スタートし、ホスト・シーケンサーの停止後もトリガーし続けます。
Host playing	Host startsと同じですが、ホスト・シーケンサーが停止すると、エンベ
	ロープはリリースモードになり、シーケンサーは停止します。
CC Trigger 1 \sim 4	CC Trigger 1~4で設定したMIDI CCを受信するとトリガーします。
Seq 1 \sim 4	Seq 1~4で設定したシーケンスでトリガーします。

モジュレーション・ソース

RP-Delayには、RP-Delayのコントロールを変調できるようにする多くのモジュレーション・ ソースがあります。

None	モジュレーション・ソースなし
Mod whl	モジュレーション・ホイール
Mod / aft	モジュレーション・ホイールまたはアフター・タッチ
Ch. aft	チャンネルアフター・タッチ
Poly Aftr	ポリアフター・タッチ
Velocity	押された最初のキーのベロシティ
Pitchbend	ピッチベンド値
Note	押された最初のキーのノート値
Breath	スタンダードccイベント
Foot	スタンダードccイベント
Expressn	スタンダードccイベント
CC16~90	MIDIコントロール・チェンジ
Offset	コンスタント・オフセット
Env 1~4	エンベロープ1~4
LFO 1~4	LFO1~4
Seq 1~4	シーケンサー1~4
Follower	フォロワー値

[登録・更新・サポート]

レジストレーション

製品アクティベートやアップデートファイルの取得のために、製品付属のシリアルナンバーを 用いてご登録ください。

アップデート

お使いの製品の最新バージョンは、Rob Papenウェブサイトでダウンロードできます。

- ・初めてwww.robpapen.comにアクセスした場合には、最初にここでアカウントを作成してく ださい。
- ・登録フォームに入力し、ホームページの左側からログインします。
- ・「Your Details」を選択し、ソフトウェア登録ページに移動します。
- ・ドロップダウン・メニューから、登録を希望する製品とバージョン番号を選択してくださ い。次にシリアル/アクティベーション・コードを入力し、右側にあるフロッピーディスク のアイコンをクリックし、リストにお使いの製品を追加してください。
- ・これで、お使いの製品は登録され、右側の欄のダウンロード・リンクをクリックするだけで 最新のバージョンが手に入ります。

製品についてのニュースレターを購読することも忘れないようにしてください。

サポート

RP-Delayのインストールまたは使用法についてご質問がある場合には、FAQをご覧頂くか、 ディリゲントのサポートチーム(<u>www.dirigent.jp/support</u>)にご連絡ください。